

育児休業・休暇からの復職率

100%

モスカード発行枚数(累計)

1,784,887枚

株主数

33,631名

数字で 見るモス

“幸せづくり”につながるモスのさまざまな活動の進捗・実績を、
数値やデータでわかりやすくまとめています。

モスが考えるステークホルダーごとにご紹介します。

P28~33の数字について

※各年度は4月1日~翌年3月31日の範囲を示します。

※対象期間の記載がない場合、2015年度(2015年4月1日~2016年3月31日)の
累計数値を報告しています。

「モスの食育プログラム」
への参加人数

3,626名

国内モスバーガーへの
ご来店客数(年間)

1億549万名

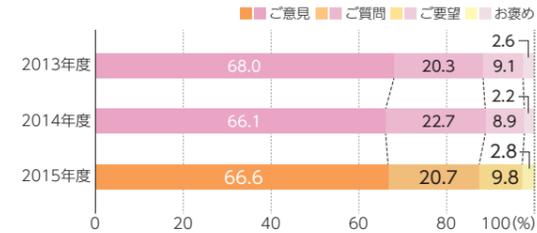
協力農家数

2,924戸

お客さま

「お客様相談室」に寄せられた声の内訳

モスでは、お客さまの貴重なご意見を大切にしています。皆さまから寄せられた声は、商品・サービスづくりに活用しています。



ご来店客数※ (国内モスバーガー)

店内でのご飲食やお持ち帰り、宅配などのご利用で、年間延べ約1億名をこえるお客さまにご利用いただいています。

1日平均	29万名
年間延べ累計	1億549万名

※お会計件数の集計です。

愛のモスボックス募金額

お客さまとスタッフの温かい気持ちがつまった募金は、(公財)アイメイト協会、ジェフ愛の募金に寄贈されました。

募金額 **8,790,832円**

※ネパール大地農義援金含む
(募金期間:2014年8月1日~2015年7月31日)

「モスカード」の発行枚数

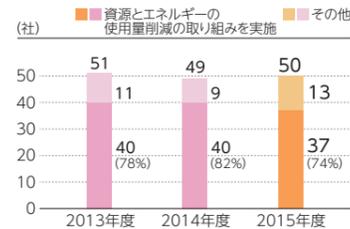
2012年4月より、全国のモスバーガー店舗にて繰り返しチャージ(入金)して使えるプリペイドカード、「MOS CARD(モスカード)」を導入し、日々のご来店時やギフトとして、多くのお客さまにご利用いただいています。

発行枚数(累計) **1,784,887枚**

お取引先

お取引先アンケート結果 (国内モスグループ)

毎年お取引先に、モスグループ環境方針などをお伝えするとともに、環境活動の実施状況をアンケート形式で調査しています。



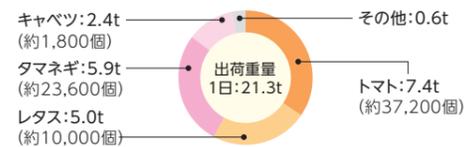
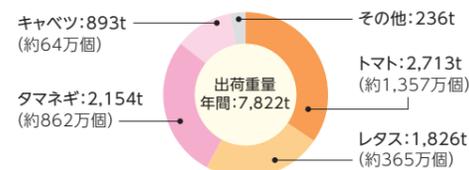
協力農家に関する数値 (国内モスバーガー)

店舗で使用しているおもな生野菜は、全国の協力農家及び各地のモスファームで、できるだけ農業や化学肥料に頼らない方法で育てられた野菜です。

協力農家数と産地数

協力農家数	2,924戸
産地数	165カ所
モスファーム	6カ所

“モスの生野菜”の出荷重量



配送時の環境配慮型車両の導入状況

(国内・委託配送会社様自社車両分)

1997年より、他社に先駆けて「常温・チルド・冷凍」の三温度帯を一台で配送できるトラックを導入。また、委託配送会社の協力のもと、配送車両を環境負荷の低い最新規制適合車などに切り替えています。

環境配慮型車両の種類	台数(台)
電気自動車	0
CNG(天然ガス)自動車	1
ハイブリッド自動車	18
LPG(液化石油ガス)自動車	0
新長期規制適合車	151
合計	170

スタッフ・加盟店

人材雇用の状況 (連結)

「社会対応力」を持ち、「価値観の多様性」を柔軟に受け止める人材の雇用と育成を目指し、キャリア構築を支援しています。

従業員数	男性	866名
	女性	509名
平均勤続年数	男性	10年5ヵ月
	女性	7年7ヵ月
新卒採用者数	男性	10名
	女性	12名
障害者雇用率		2.89%
女性管理職率*		15.38%
女性役員率(取締役、監査役)*		23.08%

*女性管理職率、女性役員率は(株)モスフードサービス及び国内グループ会社

ワークライフバランス/健康増進に関する活動実績

((株)モスフードサービス)

日々の業務改善により毎日が定時退社日となるような、従業員の健康と環境にやさしい企業を目指しています。

年間定時退社回数	50回(週1回)
健康診断受診率	99.1%
健康相談室の年間開催数	24回(月2回)
衛生委員会の年間会議開催数	12回(月1回)
「MOSレッシュ体操*」実施回数	1日1回

*「MOS」と「リフレッシュ」を合わせた造語。モスのオフィスで行うリフレッシュ体操のこと

研修制度利用実績 (国内モスグループ)

現場力向上の支援を目的として開催した、おもな研修です。

	対象	内容	実績
ベーシック研修	加盟店	経営理念と店舗運営に必要な知識・技術の習得	4回開催 38名
出張ベーシック研修	加盟店	ベーシックコースの講義を絞り込み、各地域にて開催	26回開催 317名
マスターライセンス更新研修	加盟店・直営店	店舗責任者に必要な知識及び情報の共有	79回開催 1,490名
次世代オーナー育成研修	加盟店	オーナー(経営者)になるための心構え、使命、役割を学び、経営理念、経営戦略、財務基礎力の習得	1回開催 23名
キャストセミナー	加盟店	キャスト対象の初期研修。経営理念、接客の基礎知識を学ぶ	27回開催 385名
カスタマイズセミナー	加盟店	経営理念、HDC、接客、ビジネスマナー、人材育成など希望に合わせた内容を選択	21回開催 345名
FCSV養成研修	加盟店	組織力・営業力向上の中心的役割を担うスーパーバイザー(FCSV)の育成	2回開催 22名
新入社員研修	本部・直営店	経営理念、モスバーガーの基礎知識、一般常識の習得	1回開催 24名 (別途フォロー研修2回)
農業研修	本部・直営店	“モスの生野菜”の現場を実際に体験し、生産者の野菜に対する想いを理解する	1回開催 22名
副店長認定研修	本部・直営店	副店長として必要な基礎知識・技術の習得及び意識の確認をする	1回開催 25名
新任店長研修	本部・直営店	店長業務に必要な知識及びスキルを身につけ、店長の使命と役割を学ぶ	1回開催 12名
新任・2年目SV研修	本部・直営店	SVの使命と役割を理解し、必要な知識及びスキルを学ぶ	4回開催 17名
JFA主催SV学校	本部・直営店	SVの使命と役割を理解し、必要な知識及びスキルを学ぶ	2回開催 13名
通信教育講座	本部・直営店	自己啓発、資格取得の支援	186名
社外派遣研修	本部・直営店	部門で必要な知識及びスキル向上の支援	75名

社内コミュニケーション実績 (国内モスグループ)

社長と社員が、仕事以外にも個人の趣味や夢などの話をする事で距離が縮まり、社員のモチベーションアップにつながっています。

社長と社員のランチミーティング	年24回開催/延べ120名
チェーン内報『MOSSLES(モッスルス)』の発行	年9冊(特別号含む) 累計311号

福利厚生制度利用実績 ((株)モスフードサービス)

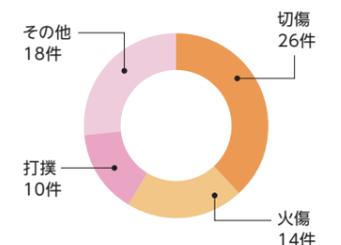
育児休業の取得はもちろん、復職しやすい環境づくりを大切にしています。今後は法制度を上回る社内制度も検討していきます。

育児休業・休暇制度利用者数	14名
育児休業・休暇からの復職率	100%
育児短時間勤務制度利用者数	10名
介護休業制度利用者数	1名
介護短時間勤務制度利用者数	0名

労災発生件数

((株)モスフードサービス)

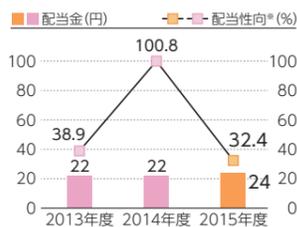
月ごとの発生件数と原因、防止策を全店舗で情報共有することで、ケガの防止を図っています。



株主・投資家

1株あたりの 配当金／配当性向

※当期利益からどれだけ配当金に回されたかをパーセンテージで示したもの



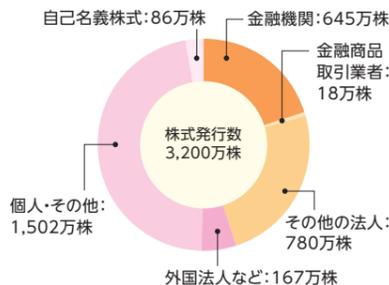
株主数

(各年度における3月31日現在の数字)



所有者別 株式分布

(2016年3月31日現在)



株主総会への 来場者数



株主優待制度

所有株式数に応じて、全国のモスグループ®及びミスタードーナツ各店舗(一部店舗除く)で相互利用できる株主優待券を、年2回ご提供しています。

発行日	6月、11月
対象基準	単元株(100株)以上の株式を所有している方が対象となります。 6月発行分は、3月31日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。11月発行分は、9月30日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。
優待内容	100株以上500株未満 年間2,000円分(500円×2枚×2回) 500株以上1,000株未満 年間10,000円分(500円×10枚×2回) 1,000株以上 年間20,000円分(500円×20枚×2回)
有効期限	6月発行分 翌年3月31日まで 11月発行分 翌年9月30日まで

※モスバーガー、マザーリーフ、カフェ・レジェロ、四季の旬菜料理 あえん、chef's V、GREEN GRILLなど

地域社会

「モスの食育プログラム」実施回数

子どもたちの健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育むことを目的に、店舗スタッフが学校へ赴き、出前授業をしています。2005年度から本格的に開始したこの取り組みは、参加人数が延べ34,124名となりました。

64校 **3,626**名

「災害時帰宅支援ステーション」の登録数

災害時における帰宅困難者への支援として、モスバーガー店舗は水道水の提供・トイレの利用などの協定を、40都道府県と結んでいます。

40都道府県 **1,252**店

「モスバーガー子ども110番の店」の登録数

危険を感じて助けを求めてきた子どもを、店舗で一時的に保護し、警察や家族に連絡する拠点となる「モスバーガー子ども110番の店」。地域のニーズに合わせて、全国で登録しています。

1,133店

職場訪問の受け入れ人数

本社では、中学生や高校生の職場訪問の受け入れを行っています。オフィス内で実際の仕事の様子を見学してもらい、食に携わる仕事の楽しさや厳しさを伝えています。

18校 **118**名

環境

電気・ガス等使用量、CO₂排出量、熱量換算、原油換算(1株)モスフードサービス及びモスバーガーチェーン)

エネルギー使用量の削減に向けて、店舗や本社オフィスなどではさまざまな取り組みを実施しています。

項目	単位	2014年度				2015年度			
		全店舗		本社・事務所・関連施設		全店舗		本社・事務所・関連施設	
		使用量	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)
電気使用量	千kWh	139,004	79,640	733	390	137,055	76,193	750	381
都市ガス使用量	千m ³	2,436	5,432	2	5	2,371	5,288	2	4
LPガス使用量	千m ³	2,176	13,002	1	3	2,127	12,712	1	4
A重油	kℓ	—	—	82	221	—	—	83	226
冷水・温水	GJ	—	—	1,666	95	—	—	1,549	88
CO ₂ 排出量合計	t-CO ₂	98,075 (2013年度比:97.9%)	715 (2013年度比:108.8%)	94,192 (2014年度比:96.0%)	704 (2014年度比:98.4%)				
熱量換算合計	GJ	1,715,179	12,923	1,687,926	12,991				
原油換算	合計 kℓ	44,252 (2013年度比:98.3%)	333 (2013年度比:107.8%)	43,549 (2014年度比:98.4%)	335 (2014年度比:100.6%)				
	原単位 ^{※1}	0.442 (2013年度比:96.7%)	0.045 (2013年度比:102.3%)	0.410 (2014年度比:92.6%)	0.045 (2014年度比:100.0%)				

※1 全店舗の原単位は、「売上100万円あたり」、本社などは、「延床面積(m²)あたり」。
※2 電力以外のその他のエネルギーは、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver.4.1)」(環境省・経済産業省)記載の係数を適用しています。

●換算係数^{※2}
■電力
電力は、電気事業者別に公表された2013年度及び2014年度の実排出係数をそれぞれ2014年度及び2015年度に適用。
単位発熱量 9.97MJ/kWh
■都市ガス
排出係数 2.23kg-CO₂/m³
単位発熱量 44.8MJ/m³
■LPガス
排出係数 3.00kg-CO₂/kg
単位発熱量 50.8MJ/kg
(LPガスは0.502km³を1tで重量換算)
■A重油
排出係数 2.71kg-CO₂/ℓ
単位発熱量 39.1MJ/ℓ
■冷水・温水
排出係数 0.057kg-CO₂/MJ
単位発熱量 1.36MJ/MJ
■原油換算
0.0258ℓ/GJ

モスバーガーチェーン全店舗の食品廃棄物発生量等と再生利用等実施率

単品やセット商品を提供する「ファストフードスタイル」は、食べ残しが出にくく、さらにモスでは「アフターオーダー方式」により、つくり置きロスが発生しにくい仕組みになっています。

	2013年度	2014年度	2015年度
売上(100万円)..... a	98,663	100,265	106,427
発生量(t)..... b	6,762	7,016	6,870
再生利用量(t)..... c	2,805	2,655	2,538
熱回収量(t)..... d	0	0	0
減重量..... e	0	0	0
再生利用以外の量	0	0	0
廃棄物としての処分量	3,957	4,362	4,332
発生原単位 g=b÷a(発生量:kg/売上100万円あたり)	68.54	69.98	64.55
発生抑制量(t) f=(基準発生原単位 [※] -g)×a	1,112	986	1,624
再生利用等実施率(%) (c+d×0.95+e+f)÷(b+f)	49.8	45.5	49.0

※基準発生原単位:2007年度 79.81

食品リサイクル法 法的目標とその結果

個別目標	42.5%	達成
------	-------	----

実績 **49.0**%

森の町内会「間伐に寄与する紙」の使用量

(国内モスバーガー)

環境NPO「オフィス町内会」の活動を支援し、森の町内会「間伐に寄与する紙」を使用することにより、間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献しています。

	2013年度	2014年度	2015年度
使用量(t)	16.0	20.8	16.3
間伐促進換算面積 [※] (ha)	0.9	1.2	1.0

※間伐促進面積は、森の町内会活動の実績値をもとに算出

環境教育・訓練実施回数

((株)モスフードサービス及びモスバーガーチェーン)

座学、eラーニング、体験学習などを用いて、経営層からキャストまで幅広く環境教育を実施しています。

	2013年度	2014年度	2015年度
開催数(回)	104	104	118

環境

モスグループ環境方針 (2007年5月21日改訂)

◆ 基本理念

私たちは「食を通じて人を幸せにすること」という目標のもと、「おいしさ」「安心」「安全」「健康」という考えを経営の中心に据え、「人間貢献」・「社会貢献」のため、環境保全活動に積極的に取り組み、循環型社会の実現と社会の持続的発展に向けて、行動してまいります。

◆ 環境行動指針

私たちは、フードサービス事業の推進において、事業活動がもつ環境影響を認識して、以下の環境行動指針を定め活動します。

1. 私たちは、事業活動に関連する法規制および受け入れを決めたその他要求事項等を守り、汚染の予防を図ります。
2. 私たちは、持続可能な社会を次の世代に残すため、事業活動全体

において、地球温暖化抑止策に以下のとおり取り組みます。

- (1) 省エネルギーと資源の有効利用活動[3R-リデュース(削減)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)]を推進します。
- (2) 環境に配慮したお店づくり、商品づくり、および物流体制を推進します。
- (3) 使用する備品や資材などのグリーン購入を積極的に推進します。
3. 私たちは、モスグループで働く全員と事業活動を支える人々の環境に関する意識向上のために、環境教育・訓練および啓発活動を進めます。
4. 私たちは、社会の役に立つ存在であり続けるため、地域社会と連携し、環境保全と啓発に努めます。
5. 私たちは、毎年度、環境目的および目標を設定し、見直しを行い、環境負荷低減に努めます。
6. 私たちは、環境方針ならびに環境マネジメントシステムの継続的改善の進捗状況を公開し、積極的に外部とのコミュニケーションをおこないます。

環境目的・目標・結果 (2015年度抜粋)

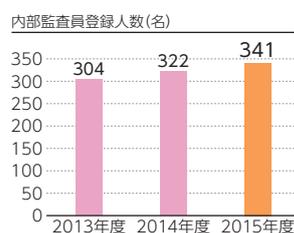
部門や子会社単位で目標を設定し、実績の評価を行い、環境活動の改善に積極的に取り組んでいます。

🌸 2015年度の目標を大きく達成 🌸 2015年度の目標を達成 🌿 2015年度の目標を未達成

環境目的	対象部門	2015年度目標	判定	結果
中期環境行動計画の達成	個別プロジェクト(MSCエコ会議)	食品廃棄物の正確な計量及び考察	🌸	3支社で計量方法を統一して比較分析を実施し、成果と課題を確認
	個別プロジェクト(RCエコ会議)	入力率平均 前年(76.4%)以上	🌸	通期平均78.1%
エネルギー使用量の継続的な削減	モスバーガーチェーン	エネルギー使用量のPOS入力率の向上(通期平均73.9%以上)	🌸	通期平均74.1%
		電気使用量1%削減(前年比/売上100万円あたり)	🌸	前年比7.3%減
		都市ガス使用量1%削減(前年比/売上100万円あたり)	🌸	前年比7.3%減
		LPガス使用量1%削減(前年比/売上100万円あたり)	🌸	前年比7.5%減
	マザーリーフグループ	水道使用量1%削減(前年比/売上100万円あたり)	🌸	前年比5.6%減
		電気使用量1%削減(前年比/売上100万円あたり)	🌿	前年比7.7%増
環境配慮の商品づくり	アグリ事業グループ	野菜の出荷量の維持(前年度実績を維持)	🌸	前年比7.7%増
	商品開発グループ	省エネ型機器の導入及び来期の検討	🌸	新コーヒーマシンを導入、11月までに全店へ設置
	コミュニケーションの充実	ダイレクトマーケティンググループ	公式サイト内の環境情報コンテンツの改善	🌸
資源の有効利用	商品流通グループ	基幹システムの排出紙の削減	🌸	前年比30.6%減
	法務・総務グループ	より環境負荷の低い大量印刷機の利用率5%増加	🌸	前年比5%増
	販売促進グループ	「間伐に寄与する紙」の積極的活用	🌸	新たにはがきなどに使用
業務改善・作業効率の向上の風土づくり	経営企画グループ	社内会議のペーパーレス化推進	🌸	新たに社内業績報告会議でもペーパーレス化を実現
業務改善・作業効率の向上	オフィス全部門	コピー用紙使用量前年比1%削減	🌸	前年比5.3%減
		電気使用量前年比1%削減	🌿	前年比12.8%増

ISO14001内部監査実施状況

環境マネジメントシステムの適正な運用をチェックするため、年1回、内部監査を実施。2015年度は、内部監査員研修の受講者は30名で、登録人数は341名となりました。(2016年3月31日現在)



ISO14001認証取得状況 (国内モスグループ)

認証取得は2004年3月からはじめ、2008年には国内連結子会社と関連店舗まで拡大。2015年2月の審査では「適合」と判定されました。

1,404 店舗 **38** 部門で取得